

# 2023 年度自己点検・評価報告書

## 数理・データサイエンス・A I 教育プログラム（リテラシーレベル） 「情報の世界」

### 1. 授業概要

デジタル社会において、数理・データサイエンス・A I を日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基本的素養を身に付けること、および数理・データサイエンス・A I に関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思でA I の恩恵を享受し、これを説明・活用できることを目指す。

### 2. 2023 年度履修状況

当該科目の 2023 年度履修者数は 427 名（1 年生 362 名、2 年生 65 名）。昨年度（329 名）から 98 名増加している。

※履修対象者数：603 名（466 名（現 1 年生）+466 名（現 2 年生）-329 名（2022 履修者数））

### 3. 2023 年度成績状況

授業における学修到達目標の達成度を試験により評価し、成績（G P）に反映した。

成績は、秀 286 名、優 68 名、良 38 名、可 19 名、不可 16 名となり、約 96%の学生が単位を修得している。

#### 【授業における学修の到達目標】

- 社会におけるデータ・A I の利活用に関連し、社会の動向、実際のデータ、活用領域、技術、を知る。
- データ・A I 利活用における留意事項（情報倫理など）について知る。
- データを読み、扱い、説明するというデータリテラシーを身に付ける。

### 4. 2023 年度自己点検・評価

秀と優の割合（約 83%）が高いことから、昨年度同様に当該科目を通して、データサイエンスに興味を持たせることができた と推察する。

また、昨年度に改善点として挙げた Microsoft Excel を使った演習（初年次前期科目のため事前知識の無い学生は Excel 演習が難しい）について、教材の工夫と丁寧な説明を実施したことで改善できたと評価する。

### 5. 改善点

より広い知識を修得させるため、学習項目の追加について検討する。